

上郡町地域公共交通に関するアンケート調査結果  
(高齢者大学・いきいき 100 歳体操)

～ 概 要 版 ～

令和 7 年 2 月



# — 目次 —

	頁
1. 地域公共交通に関するアンケート調査概要	1
1.1 調査目的	1
2. 高齢者アンケート結果	2
2.1 地域公共交通の認知状況	2
2.2 コミュニティバスに対する集計	4
2.3 公共交通を利用する上での問題点	7
3. いきいき100歳体操ヒアリング結果	8
4. 今後の課題	9
5. 課題を受けた対応方針	9



## 1. 地域公共交通に関するアンケート調査概要

### 1.1 調査目的

本調査は、今後のコミュニティバスや乗合タクシーの再編に向けて、地域の交通課題の把握・上郡町の公共交通の利用意向について、広く地域の高齢者の意見を収集し、コミュニティバスや乗合タクシーの改善に向けた基礎資料として活用することを目的に実施した。

アンケート調査票は、巻末資料1に示すとおりである。

#### < アンケート調査の概要 >

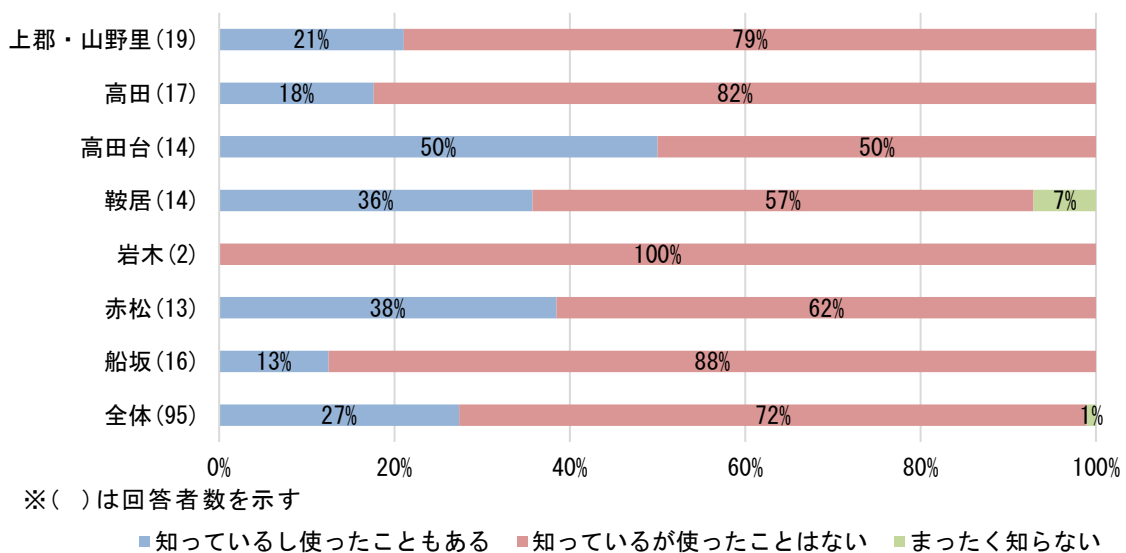
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高齢者大学千種川学園受講生</li><li>・ いきいき 100 歳体操参加者</li></ul> (上郡、山野里、高田、高田台、赤松、鞍居、船坂で全 9 回実施)
調査日	<b>【高齢者大学】</b> 令和 6 年 11 月 16 日 (土) <b>【いきいき 100 歳体操】</b> 令和 6 年 11 月 26 日 (火) ~ 令和 6 年 12 月 16 日 (月)
調査方法	<b>【高齢者大学】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 参加者に「説明資料」を配布し、上郡町内の公共交通の現状や公共交通の課題と上郡町がめざす将来像について周知した上で、アンケート調査票を配布し、次回高齢者大学開催時(令和 6 年 12 月 5 日(木))までに、高齢者大学に提出</li></ul> <b>【いきいき 100 歳体操】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 参加者に「説明資料」を配布し、地域の公共交通に対する意見・要望等をヒアリング</li><li>・ アンケート調査票を配布し、その場で記入いただき回収</li><li>・ 当日アンケートの記入が難しい場合は、次回いきいき 100 歳体操実施時まで提出</li></ul>
配布回収数	<b>【高齢者大学】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 配布数：105 枚</li><li>・ 回収数：37 枚</li><li>・ 回収率：35.2%</li></ul> <b>【いきいき 100 歳体操】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 配布数：72 枚</li><li>・ 回収数：63 枚</li><li>・ 回収率：87.5%</li></ul>

## 2. 高齢者アンケート結果

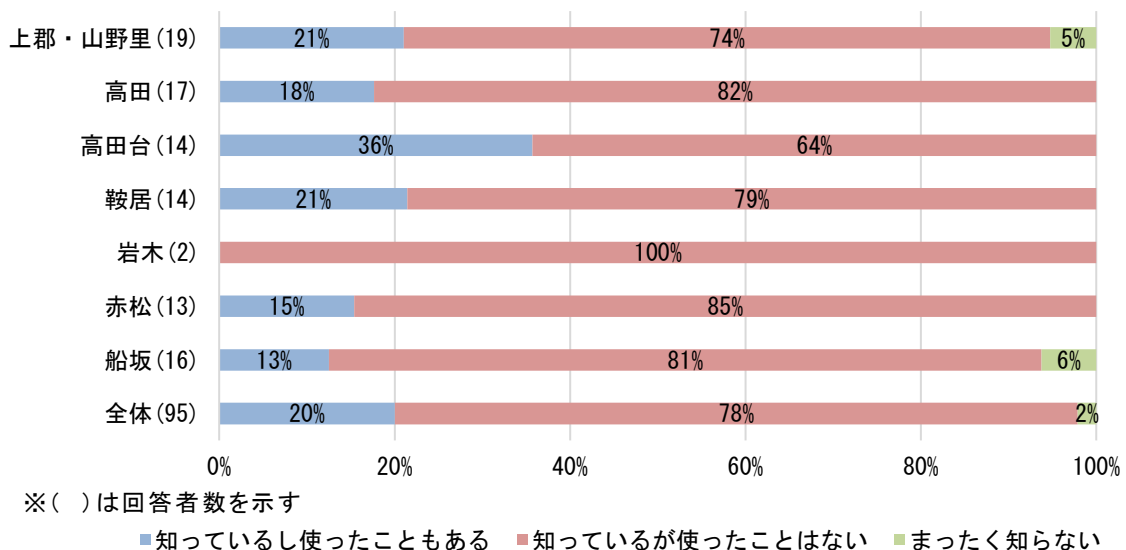
### 2.1 地域公共交通の認知状況

- ・コミュニティバス及びていじゅうろうは、ほぼ全ての回答者が知っているが、てくてくバス、予約型乗合タクシーは「まったく知らない人」が3～4割見られ、更なる周知が求められる。
- ・全ての地域公共交通で、回答者の7割以上で利用経験がないことから、周知と共に利用促進や利用機会の創出が求められる。

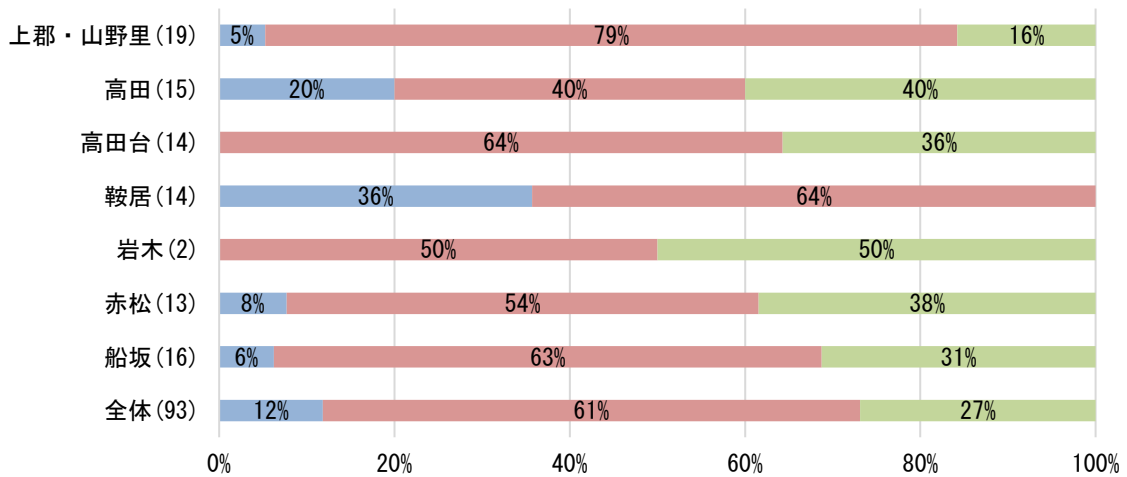
< 地区別コミュニティバスの認知状況 >



< 地区別ていじゅうろうの認知状況 >



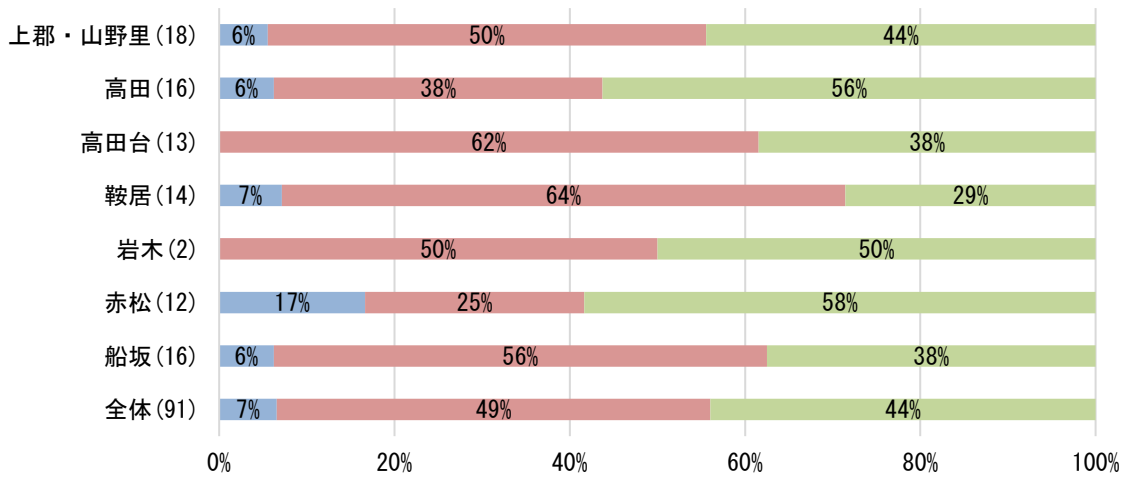
＜ 地区別てくてくバスの認知状況 ＞



※( )は回答者数を示す

■ 知っているし使ったこともある ■ 知っているが使ったことはない ■ まったく知らない

＜ 地区別予約型乗合タクシーの認知状況 ＞



※( )は回答者数を示す

■ 知っているし使ったこともある ■ 知っているが使ったことはない ■ まったく知らない

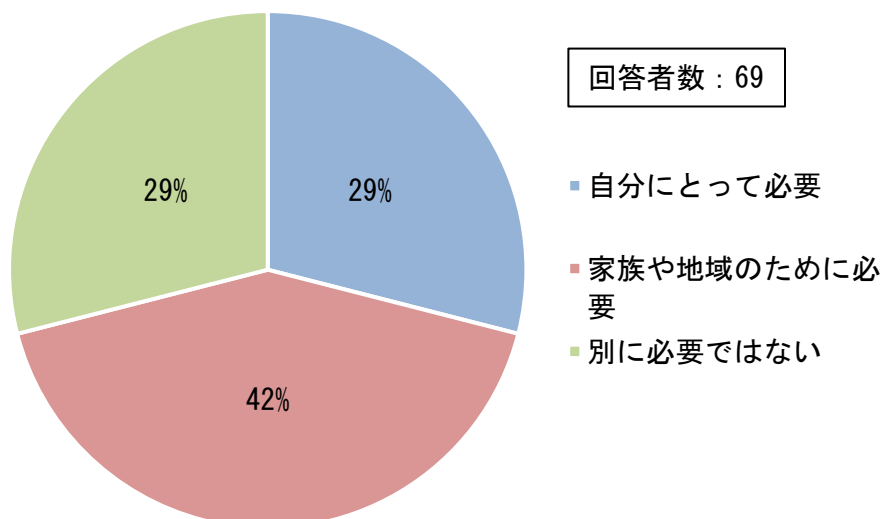
## 2.2 コミュニティバスに対する集計

### (1) 必要性

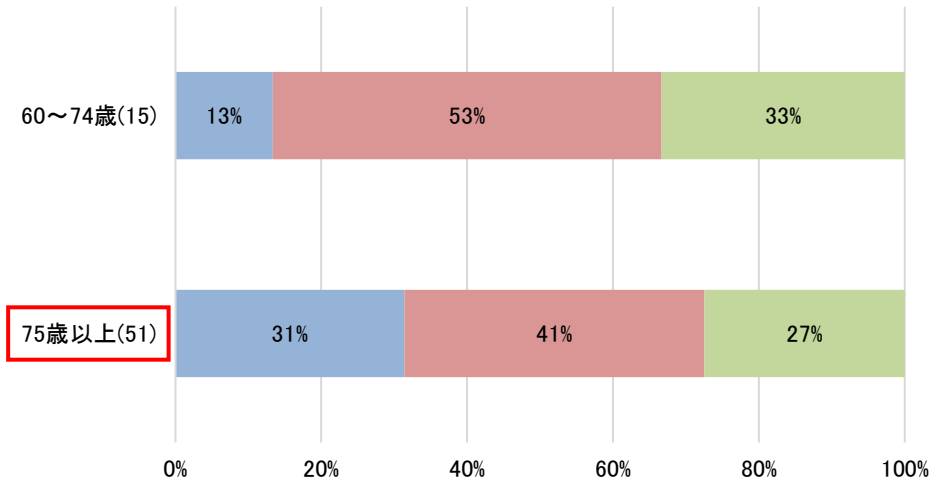
- ・コミュニティバスは、約7割<sup>※1</sup>の人が必要性を感じている。
- ・「75歳以上」「運転免許を持っていない」「運転できない」人は、コミュニティバスの必要性をより感じており、コミュニティバスは、75歳以上の高齢者等自動車を利用しづらい人の移動手段になっていることがうかがえる。

※1 「自分にとって必要（29%）」「家族や地域のために必要（42%）」の合計（71%）

< コミュニティバスの必要性の認識 >



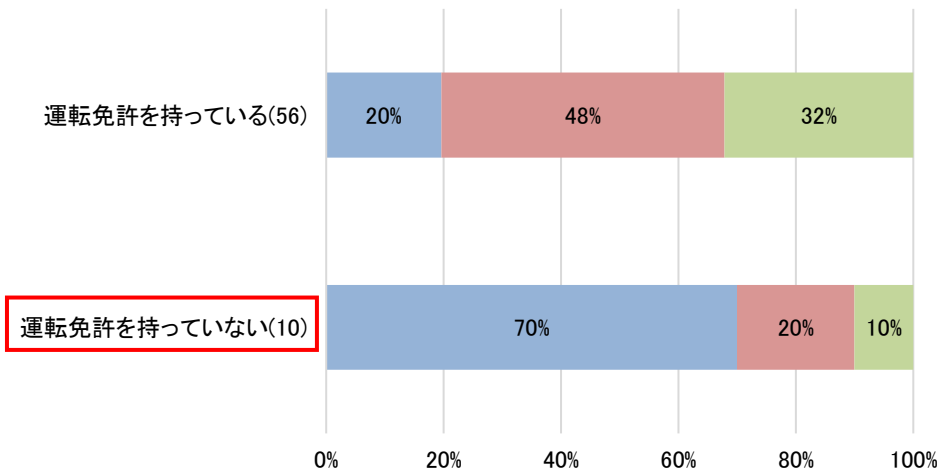
< 年齢別コミュニティバスの必要性の認識 >



※( )は回答者数を示す

■ 自分にとって必要 ■ 家族や地域のために必要 ■ 必要ではない

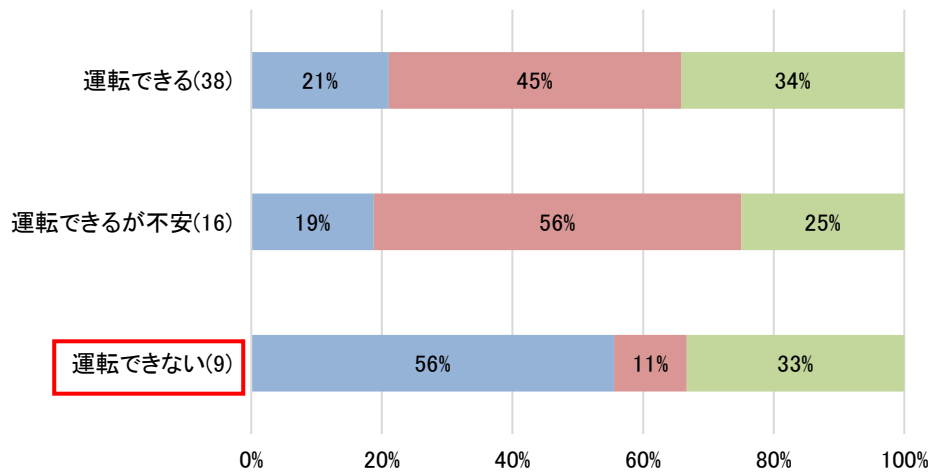
< 運転免許保有状況別コミュニティバスの必要性の認識 >



※( )は回答者数を示す

■ 自分にとって必要 ■ 家族や地域のために必要 ■ 必要ではない

< 車の運転状況別コミュニティバスの必要性の認識 >



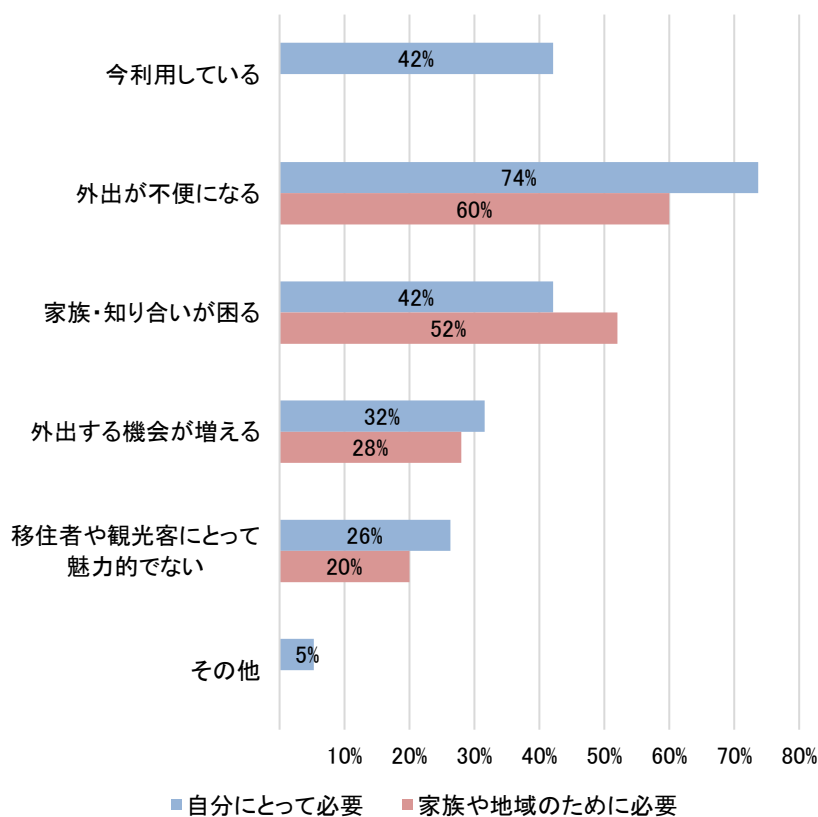
※( )は回答者数を示す

■ 自分にとって必要 ■ 家族や地域のために必要 ■ 必要ではない

(2) 必要だと感じる理由

- ・「自分にとって必要」及び「家族や地域にとって必要」と回答した人共に「外出が不便になる」が最も多くなっており、コミュニティバスが外出手段の1つとして重要な役割を担っていることがうかがえる。
- ・「家族・知り合いが困る」の回答も多いことから、回答者本人や本人の身近な家族・知り合いにとって必要な交通手段として認識されていることがうかがえる。

< コミュニティバスを必要だと感じる理由 >

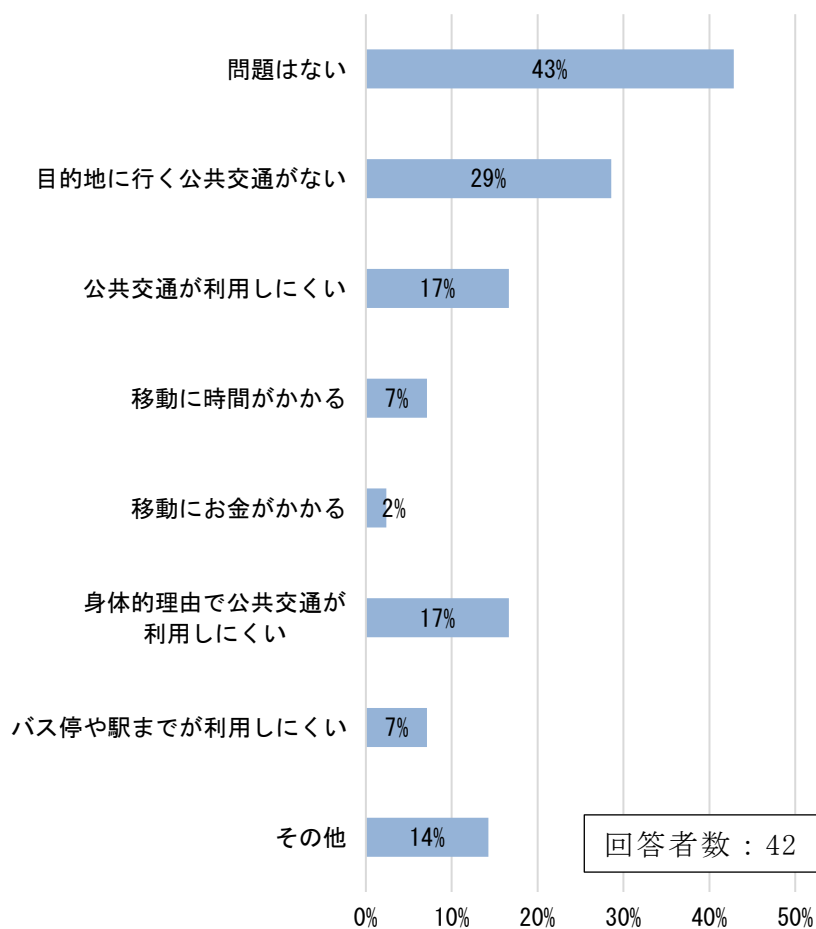


【回答者数】  
自分にとって必要：19  
家族や地域のために必要：25

### 2.3 公共交通を利用する上での問題点

- ・公共交通を利用する上での問題点は、「問題はない」が最も多くなっており、公共交通の利用について問題を感じていない人が多い。
- ・「目的地に行く公共交通がない」「公共交通が利用しにくい」の回答も多く、公共交通の運行ルートやサービス等に問題を感じている人も見られる。

#### < 公共交通を利用する上での問題点 >



### 3. いきいき 100 歳体操ヒアリング結果

各地区において実施したいきいき 100 歳体操において、参加者に地域の公共交通に対する意見や要望等のヒアリング調査を行った。

主な意見は、以下のとおりである。

#### < コミュニティバスについて >

- ・病院から帰宅しようとしたところ、バスの時間が合わず利用できなかった。
- ・バス停までが遠い。
- ・バスは、地区内を運行してほしい。
- ・バスを利用した観光モデルコースがあれば、バスを利用してみたいと思う人が増えるのではないか。

#### < 予約型乗合タクシーについて >

- ・デマンド「タクシー」の名称から、運賃が割高なイメージがある。
- ・病院の予約が 9 時からだと利用できないので不便。
- ・朝の便に乗る場合は前日の予約が必要だが、高齢になると次の日の体調が分からないため、朝の便でも当日に予約できるようになれば利用しやすくなる。
- ・乗合タクシーが、まちなか地域内でも利用できるようにしてほしい。

#### < その他意見 >

- ・ていじゅうろうのルート変更後、赤穂市民病院等まで時間がかかるようになった。
- ・バス停の位置や、乗合タクシーの存在を初めて知った。
- ・タクシー券の配布（外出支援サービス事業）は、自家用車で移動していると知る機会がない。
- ・今は運転できているが、運転できなくなった時が不安。

#### 4. 今後の課題

- ・町内を運行する地域公共交通のうち、コミュニティバス及びいじゅうろうの認知状況は高いものの、てくてくバス及び予約型乗合タクシーの認知状況は低いことから、認知度向上のための取組みが必要となっている。また、全ての地域公共交通において、回答者の7割以上で利用経験がないことから、周知のみならず、利用促進や利用機会の創出が求められる。
- ・75歳以上の高齢者等自動車を利用しづらい人は、日々の移動手段としてコミュニティバスの必要性を感じており、コミュニティバスがなくなったら外出が不便になると感じている。
- ・公共交通の利用についての問題としては、「目的地に行く公共交通がない」や「公共交通が利用しにくい」といった、コミュニティバス等の運行ルートやサービスに問題を感じている人が見られる。また、コミュニティバスについては、運行時間、バス停位置、運行ルート、観光モデルコース等についての意見が見られた。
- ・予約型乗合タクシーの運行についても、運行時間、予約時間、運行エリア等についての意見が見られた。

#### 5. 課題を受けた対応方針

##### ●地域公共交通の周知

主に、高齢者を対象にコミュニティバスや予約型乗合タクシーの周知徹底を行うため、広報誌による広報や、高齢者の多い地域での乗り方教室の開催、マイ時刻表の配布を行う。

##### ●地域公共交通の見直し

コミュニティバスや予約型乗合タクシーの利用者増に向けて、地域公共交通の見直しを行う。

見直しにあたっては、町民の日常的な移動実態の把握や地域公共交通に対する意見を収集する町民アンケート調査（全世帯対象）を行う。

このアンケート調査や、地域公共交通の利用実績から、町民の移動需要に対応した地域公共交通の再編を行う。